

議 長 日程第5「一般質問」に入ります。  
一般質問は通告順に行います。受付番号第1号、中野博君の一般質問を許します。登壇願います。

5 番 中 野 おはようございます。一般質問をさせていただきます。受付番号第1号、質問議員、第5番 中野博。件名、町長の政治姿勢を問う。

要旨、町長に就任して以来、4年が過ぎ去ろうとしていますが、スピーディーをモットーにさまざまな事業を提案・実行してきたことに対して、大いに評価されていると思われます。

4年間を振り返っての思いと今後に向かっての意気込みなどをお聞かせいただきたいと思ひます。

町 長 それでは、中野議員の御質問にお答えをさせていただきます。非常に重い話なので、30分全部使ってしまったときには御了解いただきたいと思ひます。

ちょうど4年前の6月の議会のときには、私は傍聴席で話を聞かせていただきました。非常に恥ずかしながらでございますけれども、初めて議会を傍聴させていただいて、白熱的な議論をされてたという記憶が非常にあります。また、そのときたまたまかもしれませんが、何か水入りみたいなのがあったかなというような記憶があつて、それから、もうそのときには私自身が町長選に出させていただくということで、歩き始めていたところでもございます。非常に、今回の質問をいただきいろんなことが思い出されるわけなんですけれども、あつという間だったなというような感じです。と申しますのが、本当に町民の人たちには、そのときはもう本当に、とにかく戦いということであれば、やっぱり勝ち負けというのが出てくるわけですから勝たなきゃいけないという思いでさまざまな提案をしながら、いろいろなことを考えながら、アドバイスをたくさんいただきながらやってきたわけなんですけれども、本当にいろんなことを考える余裕もなく、本当に無我夢中といひましようかね、本当にやらせていただき、当選の栄誉をいただいた後も本当に一つ一つが経験といひましようか、初めてのことで、それこそ皆さんがどういふふう私を捉えていただひてるかわかりませんが、やっぱり気持ち的に張り裂けそうなきもやっぱりあつたりとかして、意外と度胸あるじゃないかといふ話もたまにされますけれども、いや、そ

れはいろいろとそのときばかりじゃないところもありますし、という思いでこの4年間、まだ4年たってませんがね、町長ということで4年たってませんが、やらせていただいたというのが本当に心境です。

途中には、当然ですけどもいろんなお話をいただきながら進めていくわけなんで、心が折れることだってありましたけども、ただ、やっぱり自分がふと自分の立場に考えたときには、何のために今回選挙に出たのかなと、自分自身に問うたときに、やはり松田町の課題というものに対しての思いをいただいた方々に対する期待に応えなきゃいけないということもありましたし、やはり、もっと先を見越したときにさまざまな課題がぶつかるのはわかってることを見過ごせないという気持ちと、子供たちにそれを残していくわけにはいかないというようなことが、一つの支えになって今日まで来てるということでもあります。

ですので、そういったさまざまなことを積み重ねて考えれば考えるほど、思いつくのはやっぱりもう感謝という言葉以外には本当ないです。本当にこの3年、あと残りが3カ月半ぐらいありますけども、この間はさまざまな人に、やっぱり出会うことがあって、さまざまな人に教えていただく。当然、議員の皆様方もしかりでいろいろ教えていただきました。当然、またここにいていただいている職員の皆様方にも支えていただいた。もう本当にそれを全部全部考えたときに、全てが感謝という言葉にしか思いつかないところです。その思いの中で、これまで、もう総論で言うとやらせていただいたなというようなことです。

4年間というのは本当早かったんですけども、私の座右の銘として自分自身がそれまでをどれだけ思ってきたかというのは置いておいてですけども、やっぱりいい言葉だなと思うのは温故知新という言葉については、本当にいい言葉だというふうに私は思ってます。やはり、それがこの松田町において、非常に私自身は合ってる言葉だなというふうに思ってます。やっぱり古き交通の要所として栄えてきた歴史もあり、その中でそれだけ交通の要所だということであれば新しいことだって挑戦する可能性だってまだまだ秘めてる。ですから、古きよきことを学ぶことによって新しいことに挑戦できる、この松田町は、私自身は本当に非常にすばらしい町だと思っておりますし、町民の方々、そこに住

まれてる方々においても本当に素晴らしい方々がお住まいであるというふうにも思っているところです。ですから、これまでの4年間を振り返ってということになると、本当にそういった地域の特性をまだまだ生かしてきてないところもありますから、生かしていかなきゃいけないと思っているところでもあります。

今後の話をいただいているところでございますけれども、本当にそういう話をするのも、また初めてな話ですし、考えるのも初めてですし、まだまだ4年というものをいただいて、4年の重みも感じつつありますけれども、しっかりとまだ約束を果たしてないものもたくさんあって、そんな中、次の話をするとかという話は少しおこがましいというふうな格好で思っています。ただ、この町のために何かしなきゃいけないと思ってこの4年間やってきた部分について話をしますと、やはり、この町民が主権だという思いでこれまでもやってき、今、自治基本条例といったことで白熱した議論もしていただき、また、地方創生という事業の中で国の方々、また先生からまたお認めいただきながら、松田町がこれからまだまだやらなきゃいけないことがたくさんあることを、職員とまた町民の方々と一緒になって仕掛けてきた責任はとらなきゃいけないというふうにも思っていますし、これがことし1年で終わる事業ばかりではないというのも強く認識はしています。それが一つにはこれまでいただいた町民の方々、また議員の皆様方、職員の方々、町内外から、また近隣の首長さん方からいろんなことを学ばせてもらった義理だとか人情だとか、そういったふうに私はとってある部分があるんですけども、それに対する恩返しはまだまだしきれてないなというふうには思っておりますので、今後はそういう思いを背負いながら次をどうするのかということを表明をしなきゃいけない時期に来てるということを申し上げたいというふうには思っております。

いろんな思いを自分の言葉でたくさんここにしたためにはいるんですけども、やはり議会の場ですので、議会の中で皆さんとともにですね、今後もとにかく残された…残されたというか残りの3カ月と半月について、まずは全うをしっかりとしていきたいと。しなきゃいけないというふうに考えております。以上です。

5 番 中 野 私、今びっくりして聞いておったんですが、原稿を見ることなくね、4年間

の思いを切々とお話をいただきました。課長がつくった原稿をすらすらと読んで、それで終わりになってしまうのかなと、大変失礼ですがそう思っておったんですが、さすがでございます。感服をいたしました。4年前、大勢の町民の皆さんの期待を背負って町長に就任して以来、かつてないほどのいろいろな、さまざまな事業の発案と、それを執行されてきたことは、大いに町民の皆さんも大変誇りに思っておることと思います。若さと情熱とスピーディーにをモットーにということで、これもまた本山町長らしいというところがございます。何もかもがお褒めの言葉というふうに取り上げていただきたいと思うんですが、中にはですね、辛口の採点も当然のことながらあるようでございます。かつて、どこの町民もそうですが、行政、政治というものにそれほど、さほど関心を持っておられないという町民は多い中、それは何もせずにしていけば国や県が何とかしてくれるよと、そういう思いの時代が長く続きました。しかしながら、これからは違います。地方創生にも見られるように、国も自治体みずからが動かなければ何の援助もいたしませんよと。こういう時代に移り変わらして、町民一人一人の意識が町政にと向いてきたのではなかろうかと思えます。そういった町政に興味を持っていただける町民がふえるということは、これには当然、是々非々がつきものでございます。

先日、ある会合の折の雑談話の中で、貴重な意見が聞かされたことなんですが、その一例をお話をさせていただきます。これからお話しすることは時には町長に対して大変失礼な、御無礼な発言があるかもしれません。私は町長より少々お飾りの下を長くくぐってまいりましたので、枕言葉といたしまして老婆心ながらということで、御無礼をさせていただきたいと思えます。これは私が言った言葉ではなく、町民が言った言葉ですが、時には私の私見も入るかもしれませんので、老婆心ながらということでお聞きをいただきたいと思えます。

その町民いわく、町長は若くして本当にいろいろな事業、いろいろとやっつけられたと。非常にこれは素晴らしいことだ。しかし、いろいろな事業をやるにおいても拙速すぎるのではなかろうかというようなお言葉がございました。物事をやるのもう一度、一旦止まって、そして見つめ直してみるのも必要だよと。そしてもう1点、町長は若いがゆえに、自分みずからが動き過ぎると。

ももっとも、優秀な職員が大勢いるのですから、その職員にお任せをすればよろしいんじゃないだろうか。その2点を言われたわけでございます。最初の拙速すぎるよということは、事業によってはスピーディーにすぐ実行しなければならないものもあろうかと思いますが、大きな事業に対しては、一度止まって見つめ直すということも肝要ではなかろうかということだそうでございます。町長、正しいという字はですね、漢字。これはね、一度止まると書くんですね。ですから、ぜひ何が正しいか過ちなのかを見きわめるためには、拙速すぎるのではなく、一度立ち止まってもう一度見つめ直すということも肝要であろうと思います。

そして、2つ目の町長ね、若くファイトマンでございますので、大勢いる職員よりも自分が率先して先にやっつけてしまおうという部分のところも多々見受けられるのかなという思いもします。ぜひ、町長が動くのではなく、優秀な職員を動かすということも必要でございます。さすれば、町長自身にもゆとりというものができるわけですね。かつての大物政治家、田中角栄氏が言った言葉なんですが、優秀な優れた指導者というものは、その人の才能を見定めて適材適所に配置し、何よりも肝心なのはその者に大事を任せられることができると。指導者というものは、常に人事力と人材発掘力を求められているものだというふうに言われております。ぜひ、本山町長にもこの言葉が当てはまるかどうかわかりませんが、ぜひこの言葉を進言いたしたいと思います。今、お話ししたことに対しまして、何かコメントがございましたらお願いを申し上げます。

町長 御指摘ありがとうございます。1つ目の拙速すぎるというようなことは、よくわかります。というのが、先ほどちょっとお話をさせていただいたように、どれだけ現在いる職員さんたちが継続事業としてやってきたかという事業のボリュームをよくわからず、やらなきゃいけない課題を公約として掲げさせていただき、その公約はやっぱり守らなきゃいけないということもありましたので、職員さんからすると、通常やっている仕事もありながら新しいことまで挑戦しちゃうということについては、状況によっては過去に経験をしたことのないような時間の使い方をされてきたということもあって、それに対するメッセージいいでしょうか、私からの指示というものが少なく、ある意味、総論的な話の

中で、結果的には町民の方々へのサービスの低下を招いたということにつながったりだとかという話もあったような話も聞いてますので、そのあたりは反省もしなきゃいけないところでもあるとは思ってはいます。

ただ、過ぎた時間の今の現状を考えると、まだまだなところも、いろいろ御指摘はいただきますが、やっぱりやった分は成長したんじゃないかなろうかというふうに期待をしているところでもあります。それに対する評価というのはいろいろあるかと思うんですけども、一度止まって考えるというふうなことにしましては、まさにどこかで聞いたことだというふうに思ってますので、やっぱり立ち止まる勇気というものを持ってですね、正しくとにかく導いていくというか、指導していけるようにやりたいと思ってますし、2つ目の動き過ぎるというところにつきましては、若いんだからというお言葉をちょっといただくんですけどもね、しかしながら、職員さんに任せるところにつきましては、やはり全く行政の素人の頭の中の考え方と、何十年かやっぱりやられてきた職員さんたちの考え方と、やっぱりお互いの場所によっては常識・非常識がやっぱりあると。役場に入ってくると、役場の職員さんたちに、あなた方の考え方は一般的には非常識じゃないのとお話をすれば、相手は町長の考え方こそ行政に対して非常識だというようなこともあったりすることもあるとあって、だったら俺は約束したんだから私が動かなきゃいけないとかっていうようなことで、責任を応じて動いたことも多々あります。しかしながら、少しずつ話す機会が多い分、職員さんとの意識も出てきて、しまいには恐らくですけど、なかなか聞かないですけども、多分、町長はこう思うだろうとか、多分こういうことを言うだろうなというのを少しずつ感じていただいているのかなというふうに思ってる部分も少しはあります。全部じゃないにしても。ということがありますので、今後はやっぱりそういうふうになっていけば、私と同じような考え方の人がどんどんどんどんふえていけば、町民サービスがスピーディーに受けられるようになっていくのではなかろうかというふうに期待もしておりますので、今の現状は、今、御指摘いただいたことを考えつつですね、やってみたいというふうに思います。以上です。

5 番 中 野 町長、うわさは当事者を避けるという言葉がございますね。町長に対して、

直接耳に入らないような苦言もあろうかと思えます。また、面と向かって町長に対して苦言を呈するという町民も、そう多くはなからうかと思えますので、今、御発言いただいたようなお気持ちを忘れずに、ぜひお願いをしておきます。

そして、きょうの本題です。ずばり聞きます。先ほど来、まだ正式にはお言葉がございません。町長選の日程も決まり、本来ならばこの時期では、町中蜂の巣をつついたようににぎわうものなんですが、いまだ無風状態が続いているようなことでございます。そして、本山町長もまだ公には今後の態度を表明はされておられません。今、一番町民が関心を持っておることだろうと思えます。そこで、ぜひ、きょう今この場ではっきりと態度表明をしていただきたい。かように思う次第でございます。お願いします。

町長 今の質問は出るか出ないかはっきりしろというお話のことだと思います。先ほどお話をしたように、私自身においては、次の選挙に一町民としては挑戦権は当然あるわけですし、さまざまところで恩返しをしなければいけないというお話をさせていただきました。口で話をするだけでは恩返しにならないというふうにも思っております。白黒させろというようなことでしょうか、お話をさせていただくと、この1期目にいただいた信託、またオール松田というような言葉で私はさせていただきながら、なかなか私自身をわかって…知らせなかったのもありますから、わかっていただけなかった方々に対しても、平等に私はやってきた…平等といいましようかね、バランスをとってやってきたつもりもありますので、その思いは全く変わってなく、今後もやっていかなきゃいけないというふうに思っておりますので、選挙というものが近づいてくるわけなところであります。そんな中、私としてもこれを放っていくわけにはいかないというふうな思いがありますので、2期目に向けてですね、私自身の考えをしっかりとまとめて挑戦できるようにですね、準備を進めてまいりたいというふうに考えてますが、そういう回答でよろしいでしょうか。（「よし」の声あり）以上です。

5 番 中 野 多分、私は今のが精いっぱい力強い宣言であろうと受けとめます。これにて私の質問は終わりますが、もし無投票であるならば、この本山町長の4年間というものは町民に承認をされたということでございます。今後に向かって、

松田町の発展・活性、そして町民の幸福のために存分に頑張ってくださいことを  
お願いをいたしまして、質問を終わります。ありがとうございました。

議

長 以上で受付番号第1号、中野博君の一般質問を終わります。